

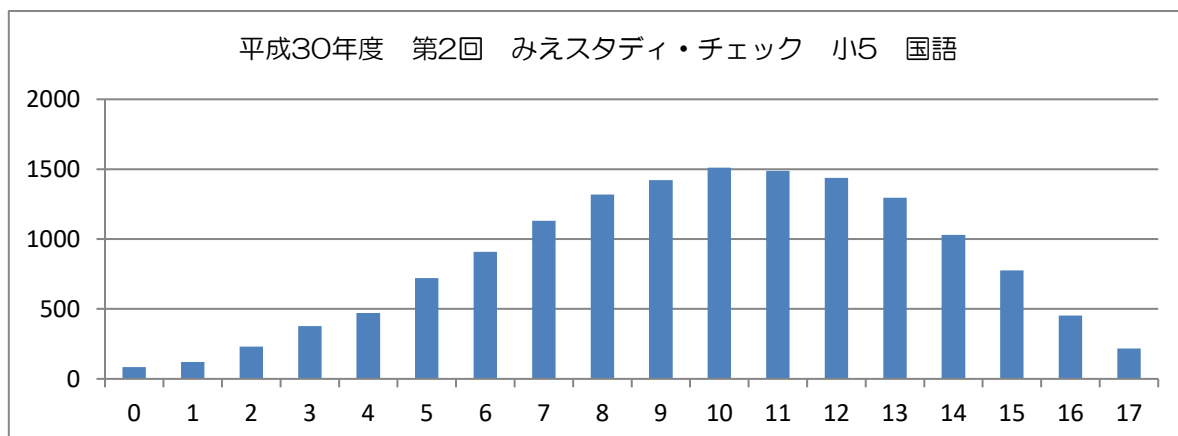
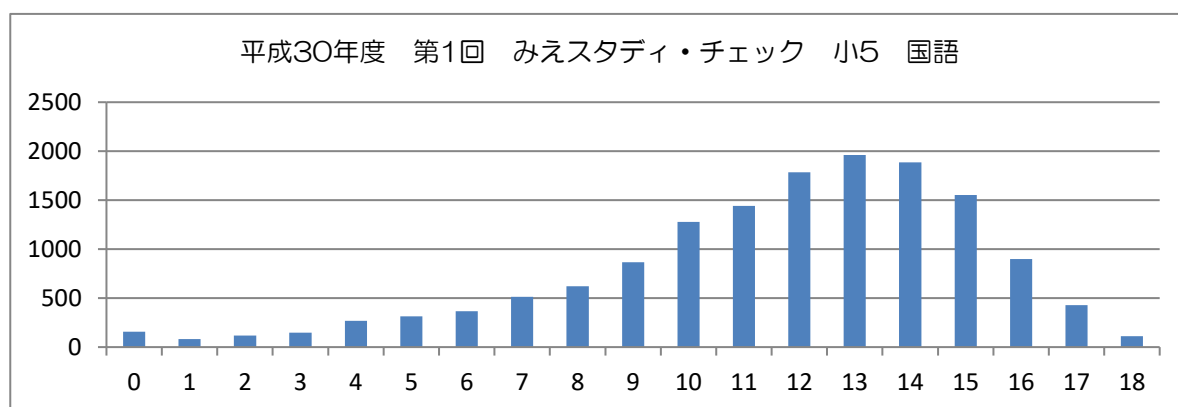
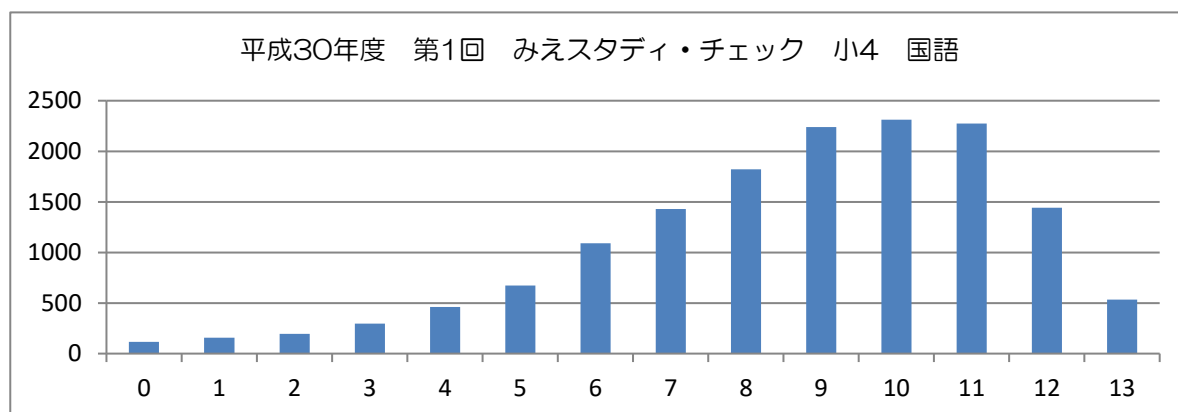
Ⅱ 平成30年度みえスタディ・チェック結果の分析報告（小学校国語）

1 集計結果

（１）平均正答率、平均無解答率及び領域別平均正答率

	平均 正答率	平均 無解答率	領域別平均正答率			
			話す・聞く	書く	読む	言語文化等
第4学年第1回	66.7%	6.4%	49.4%	21.7%	49.1%	77.6%
第5学年第1回	64.2%	9.8%	41.9%	28.4%	67.2%	69.8%
第5学年第2回	57.5%	7.2%	47.2%	37.6%	50.3%	61.7%

（２）正答数別分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：児童数）



2 第2回みえスタディ・チェック改善状況（小学校5年生 国語）

（1）平均正答率

今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
57.5%	52.7%	+4.8

（2）改善された設問数（全設問数に占める改善された設問数の割合）

改善された設問数（割合）
11/17 問（64.7%）

（3）設問別の改善状況

① 全設問

設問番号		過去の 出題※	学習する 学年	問題概要	問題 形式	今回の 県平均正答率	過去の 県平均正答率	改善状況
1	一（１）	H29 みえ	４年	「加える」（読み）	短答	93.8%	94.3%	-0.5
	一（２）	H26 学調	５年	「勢い」（読み）	短答	78.4%	72.2%	+6.2
	一（３）	H30 学調	５年	「せい限」（書き）	短答	49.9%	72.5%	-22.6
	一（４）	H28 学調	３年	「そくだん」（書き）	短答	61.2%	61.7%	-0.5
	一（５）	H30 みえ	４年	「きかい（機会）」（書き）	短答	55.4%	19.5%	+35.9
	二（１）１	H27 みえ	３年	文の主語を選択	選択	71.3%	61.9%	+9.4
	二（１）２	H28 みえ	３年	文の主語を選択 （修飾語、被修飾語を含んだ文）	選択	54.7%	55.6%	-0.9
	二（２）	H30 みえ	３年	文の主語を選択 （接続語を含んだ文）	選択	54.6%	36.0%	+18.6
	二（３）	H30 学調	３年	主語と述語がつながり合っていない文を選択し、文を正しく書き直す	短答	35.9%	33.5%	+2.4
2	一	H27 みえ	５年	登場人物の関係	選択	72.7%	73.9%	-1.2
	二	H27 みえ	３年	登場人物の気持ち	選択	61.7%	59.9%	+1.8
	三	H27 みえ	５年	登場人物の気持ちについて自分の考えをまとめる	記述	33.1%	36.4%	-3.3
3	一	H28 みえ	３年	内容が一致する段落	選択	79.8%	65.1%	+14.7
	二	H28 みえ	５年	要約する	記述	33.5%	23.6%	+9.9
4	一	H29 みえ	５年	グラフから分かること	選択	62.3%	58.5%	+3.8
	二	H29 みえ	３年	互いの考えの共通点	選択	58.0%	53.0%	+5.0
	三	H29 みえ	５年	引用して自分の考えを書く	記述	21.4%	18.8%	+2.6
合計						57.5%	52.7%	+4.8

※みえ：みえスタディ・チェック

学調：全国学力・学習状況調査

② 第1回（4月実施）の同一の問題で出題した設問

設問番号		学習する学年	問題概要	問題形式	今回の 県平均正答率	過去の 県平均正答率	改善状況
1	一（５）	４年	「きかい（機会）」（書き）	短答	55.4%	19.5%	+35.9
	二（２）	３年	文の主語を選択 （接続語を含んだ文）	選択	54.6%	36.0%	+18.6

③ 平成 30 年度全国学調の同一の問題で出題した設問

設問番号		学習する学年	問題概要	問題形式	今回の 県平均正答率	過去の 県平均正答率	改善状況
1	一（３）	５年	「せい限」（書き）	短答	49.9%	72.5%	-22.6
	二（３）	３年	主語と述語がつながり合っていない文を選択し、文を正しく書き直す	短答	35.9%	33.5%	+2.4

④ その他の設問で過去からの改善の図られていない設問

設問番号		学習する学年	問題概要	問題形式	今回の 県平均正答率	過去の 県平均正答率	改善状況
1	一（１）	４年	「加える」（読み）	短答	93.8%	94.3%	-0.5
	一（４）	３年	「そうだん」（書き）	短答	61.2%	61.7%	-0.5
	二（１）２	３年	文の主語を選択（修飾語、被修飾語を含んだ文）	選択	54.7%	55.6%	-0.9
2	一	５年	登場人物の関係	選択	72.7%	73.9%	-1.2
	三	５年	登場人物の気持ちについて自分の考えをまとめる	記述	33.1%	36.4%	-3.3

（４）設問区分別（基礎・基本の設問と活用の設問）の改善状況

区分	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
基礎	61.7%	56.4%	+5.3
活用	52.8%	48.7%	+4.1

（５）学習学年別の改善状況

学習学年	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
３年生	59.7%	53.3%	+6.3
４年生	74.6%	56.9%	+17.7
５年生	50.2%	50.8%	-0.7

３ 結果から見られる改善点と課題

【改善点】

- ・「段落ごとの内容を捉えること」について定着が図られました。

【課題】

- ・「主語と述語がつながりあっていない文を選択し、文を正しく書き直すこと」や経年的課題である「文章を要約すること」、「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」は、改善が進んでいません。

4 特に課題が見られる設問

第4学年第1回 3二の設問 (平均正答率：23.8%)

3
四年生の大野さんは、自分のお気に入りの物語について「しょうかいカード」にまとめ、クラスで発表します。「春の海、スナメリの浜」の【物語の一部】と大野さんの「しょうかいカード」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(中山 聖子「春の海、スナメリの浜」による。)

- 二 大野さんは、由良がきららにむ中になつたきつかけについて、「しょうかいカード」に書くことにしました。「しょうかいカード」の〈イ〉に入る内ようを、次の〈じようけん〉に合わせて書きましょう。
- 〈じようけん〉
- 由良がきららにむ中になつたきつかけについて、「きらら」「首」という言葉を使って書くこと。
- 「そのきつかけとは、」に続く形で四十字以上、六十字以内で書くこと。

わたしがおすすめる一さつ

題名 『春の海、スナメリの浜』
作者 なかやま せいこ 中山 聖子



ここがおすすめ

わたしの一番心にのこったところは、水族館のあついガラスのすぐそばで、スナメリのきららが自分(由良)の顔を見てわらってくれたと由良が思ったところです。

なぜなら、きららと由良の気持ちが通じ合ったように思えるところだからです。

この物語を読むと、生き物と通じ合えるような気持ちになります。ぜひ、読んでみてください。

〈ア〉

内よう

ある日、由良はおばあちゃんと水族館へ行きました。とても大きなガラスの水そうがあり、その中で、大中小のスナメリが三頭、頭を上にしてういていました。由良は、「一番小さいのが、きららちゃん」とおばあちゃんに教えてもらいました。

その後、由良はあるきつかけで、きららにむ中になりました。そのきつかけとは、

〈イ〉

その後、由良は、むねのおくが温かくなつて、きららを見て、自分もわらっているように思いました。

そして、由良は、おばあちゃんに、「今、きららがわらったよ」とつたえます。

大野 ゆか

<解答類型別正答率>

問題番号	解 答 類 型	正答	正答率 誤答率
3	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①「きららがわらったような顔で、わたしをじっと見つめながら首をうなづくように小きざみに動かした」という内容を書いている。 ②「きらら」「首」という言葉を使って書いている。 ③「そのきっかけとは、」に続くように、40字以上、60字以内で書いている。	
		(正答例) ・由良の前まで泳いできたきららがわらったような顔をしていて、首をうなづくように小きざみに動かしたことです。(52字) ・きららが、わらったような顔で由良のことを見つめながら、うなづくように首をクイクイッと動かしてくれたことです。(54字)	
	1	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	◎ 23.8%
	2	条件①, ②は満たしているが, ③は満たしていないもの	13.5%
	3	条件①, ③は満たしているが, ②を満たしていないもの	3.0%
	9	上記以外の解答	44.0%
	0	無解答	15.8%

<課題解決に向けた指導のポイント>

登場人物の心情の動きや、変化のきっかけについて叙述を基に捉え、自分の言葉で書きまとめることができる

誤答から、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと【第1学年、第2学年】や、場面の移り変わりに注意しながら、叙述を基に登場人物の性格や気持ちの変化、情景などを想像して読むこと【第3学年、第4学年】及び自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること【第1学年、第2学年】や、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと【第3学年、第4学年】につまずきがあると考えられます。

指導に当たっては、場面の移り変わりとともに描かれる登場人物の気持ちが、どのように変化しているのかを具体的に思い描くことが考えられます。登場人物の気持ちは、場面の移り変わりの中で揺れ動いて描かれることが多いです。そのため、複数の場面の叙述を結び付けながら、気持ちの変化を見いだして想像していく活動や、問題にもあるような【しょうかいカード】やノートなどを用いながら、登場人物の心情が変化したきっかけについて、叙述を基に整理し、自分のことばでまとめることができるように指導することが考えられます。

<授業改善サイクル支援ネットの活用（関連するワークシート）>

平成 29 年度 （教員等で作成）「登場人物の人物像をとらえよう」ワークシート



登場人物 人物像 で検索

物語の登場人物の気持ちの変化について、理由とともに述べるができるかどうかをみる。
・登場人物の心情、場面についての描写を捉え、気持ちの変化について自分の考えをまとめること。

（小学校四年生）
解答例

読むこと

登場人物の人物像をとらえよう
〜ごんぎつね〜

年 組 番 名前

一 村本さんの学級では、新見南吉さんが書いた「ごんぎつね」を読み、ごんはどんなせいかくかについて考えたことを、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、「話し合いの様子の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

村本 新見南吉さんの「ごんぎつね」を読んで、ごんは、どんなせいかくだと感じましたか。

山口 さびしがりやだと思いました。

村本 ア どこからそう思ったのですか。

山口 「ごんは、ひとりぼっちの小さつね」と書いてあります。そこから、ひとりぼっちで、さびしがりやだと感じました。

谷山 私もさびしがりやだと感じました。「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」と書いてあります。ここから、ごんは、お母さんをなくしてひとりぼっちになったさびしそうな兵十と自分を重ねているのだと思いました。

小坂 「役でも盛でも、辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。」と書いてあります。そこから、ごんは、いたずら好きだと思いました。

村本 小坂さんのように、ごんはいたずら好きだと思うけれど、山口さんや谷山さんのように、「ひとりぼっち」という言葉から、さびしがりやだということもできますね。さびしがりやだから、相手にしてほしくて、いたずらをしたのかもしれないですね。

戸田 「ごんは、これはしまったと思いました。」と書いてあります。ごんがつぐないのために兵十のうちにいわしを投げこんだことで、兵十はいわし屋にぬすびどと思われ、なぐられてしまいます。ごんは、「しまった」と自分のしたことをうかいているから、やさしいと感じました。

谷山 土田さんは、ごんをどんなせいかくだと感じましたか。

土田

（話し合いが続く）

A

一 【話し合いの様子の一部】の中の……部アの発言には、どのような意図がありますか。最も適切なものを、次の1か4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 自分の理合いが正しいかどうかを相手にたしかめようとしている。
- 2 考えの異なる文章中の表現を明らかにしようとしている。
- 3 言葉の意味が分からず、その意味を知ろうとしている。
- 4 今までにない考えを聞こうとしている。

2

二 【話し合いの様子の一部】の中の A のところで、土田さんは、物語の言葉や文を取り上げながら、ごんのせいかくについて話しています。あなたが土田さんならどのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 戸田さんのように、物語からごんのせいかくが表れている言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、ごんはどんなせいかくについて考えたことを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと

* ◆の印から書きましょう。どちらようで行を変えないで、続けて書きましょう。

い	と	感	じ	ま	し	た	。														
け	れ	ど	、	つ	ぐ	な	い	を	続	け	て	い	る	か	ら	、	や	さ	し		
と	書	い	て	あ	り	ま	す	。	い	た	ず	ら	は	、	悪	い	こ	と	だ		
拾	っ	て	は	兵	十	の	う	ち	へ	持	っ	て	き	て	や	り	ま	し	た	。	
◆	「	次	の	日	も	、	そ	の	次	の	日	も	、	ご	ん	は	、	く	り	を	

100字

60字

採点について
・叙述をもとにして、自分の考えを記述していれば、正答とする。
・物語の叙述のみ、または、自分の考えのみであれば、誤答とする。

□ 【ここをチェック】
物語の言葉や文を取り上げながら、自分の考えを書くことができましたか。
【関連教材】光村図書／東京書籍四年「ごんぎつね」

2

上田さんの学級では、自分が読んだ本について発表することになりました。上田さんは、「土手をかけ
おりよう!」という物語を読み、考えたことを発表することにしました。次の文章をよく読んで、あとの
問いに答えましょう。

(あんず ゆき「土手をかけおりよう！」による。)

三 ― 線部②「ある、ある、ある！ わたしは、強くうなずいた」の部分について、上田さん

は、真希がこれからしようと思っていることを文章にまとめ、発表することにしました。次の条件にに合わせて、真希がこれからしようと思っていることを書きましよう。

〔条件〕

○「カヤネズミの巢」「動物図かん」という言葉を使って書くこと。

○ 次の文の **ア** に当てはまるように、三十字以上、六十字以内で書くこと。

●わたしは、真希が

ア

と

左の原こう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

60字	30字		
-----	-----	--	--

604

<解答類型別正答率>

問題番号	解 答 類 型	正答	正答率 誤答率
2	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 真希が家にある動物図かんでカヤネズミのことを調べておこうと思っていることを書いている。 ② 「カヤネズミの巣」「動物図かん」「動物図鑑」という2つのことばを使って書いている ③ 空欄の前後につながるように、30字以上、60字以内で書いている。		
	(正答例) ・サヨさんといっしょにカヤネズミの巣をさがしに行く前に、動物図かんでカヤネズミのことをくわしく調べよう(50字)		
	1 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	◎	33.1%
	2 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの		13.7%
	3 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの		2.4%
	4 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの		8.7%
	9 上記以外の解答		33.4%
	0 無解答		8.8%

<課題解決に向けた指導のポイント>

問題文の文章表現を正確に読み、問われていることに対して、適切に表現できるようにする

誤答から、問題文の文章表現を正確に読み、問われていることに対して、適切に表現することにつまずきがあると考えられます。

指導に当たっては、求められている条件に線を引いて確認するなど、何が求められているのかを正確に把握することを意識させます。また、文章の内容を理解する場合や、表現する場合の両方において、語句と語句とがどのように関連し合って文が構成されているかや、文の書き出しと文末表現の関係などを含めた文の中の語句と語句との係り受けを意識させます。このように、語句相互の関係を理解させることは、内容の把握を的確にすることにもつながっていきます。

叙述を基に文章を正確に読み、それを根拠として自分の考えをまとめる

誤答から、叙述を基に文章を正確に読むことや、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと、叙述を根拠として自分の考えをまとめることにつまずきがあると考えられます。

指導に当たっては、叙述を基に場面の展開を捉えながら読むことや、一つの場面の叙述だけにとどまらず、複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読むことを指導します。具体的には、物語全体を見とおすことができるような学習シートを用いたり、感想を記入したカードやノートを活用したりしながら、どの叙述に着目したのかを明確にできるように指導します。

さらに、それらの叙述を取り上げながら、「叙述を基にしてどう考えたのか」についてまとめる際に、根拠として文章全体を通して中心となる内容を明確にしたり、各段落の内容の中心を明確に記述したりすることを指導します。

また、語句と語句とがどのように関連し合って文章全体を構成しているのかを意識させることも大切です。実際の文章は、語句と語句との関係に基づきながら記述されており、そのような語句相互の関係を理解することによって内容の把握を的確にすることにつながっていきます。

<授業改善サイクル支援ネットの活用（関連するワークシート）>

平成 29 年度 （教員等で作成） 「情景から、人物の心情を想像しよう」ワークシート



情景 心情 想像 で検索

物語の情景について、理由とともに登場人物の気持ちについての自分の考えを述べることができるかどうかをみる。

・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

情景から、人物の心情を想像しよう		読みこと	解答例
年	組	番	名前
青木さんの学級では、椋鳩十さんが書いた「大造じいさんとガン」という題名の物語を読み、印象に残った表現について話し合っています。次は、「話し合いの様子の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。			
【話し合いの様子の一部】			
石田	ぼくは、「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」という表現が印象に残ったよ。「東の空が真っ赤」というところから、おとりを使う作戦にかける大造じいさんの強い	A	が伝わってきたよ。
青木	その表現は印象に残るよね。ぼくは、その表現の「真っ赤に燃える」というところから、今度こそ作戦を成功させてみせるといふ大造じいさんの熱い気持ちが伝わってきたよ。		
米村	「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」のように、大造じいさんの心情が伝わってくる情景は他にもあるのかな。		
中山	ぼくは、「秋の日が、美しくかがやいていました。」から、大造じいさんの気持ちが想像できると思うよ。		
山田	中山さんは、その情景から大造じいさんのどんな気持ちが考えられると思ったの。		
中山	「秋の日が、美しくかがやいていました。」という表現の「かがやく」というところから、昨日よりももっとたくさんさんのガンがつりばりにかかっているだろうとわくわくしている大造じいさんの気持ちが伝わってきたよ。		
山田	なるほど。		
米村		B	
（話し合いが続く）			

※ ◆の中から書きましょう。どちらで行を変えないで、続けて書きましょう。

一 【話し合いの様子の一部】の A の中に入る言葉として最も適切なものを、次の 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 不安
2 悲しみ
3 おそれ
4 意気込み

二 【話し合いの様子の一部】の中の B のところで、米村さんは、物語の言葉や文を取り上げながら、大造じいさんのどのような気持ちが伝わるかについて話しています。あなたが米村さんならどのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）
○ 「取り上げた言葉や文をもとに、大造じいさんのどのような気持ちが伝わってくるかを書くこと。
○ 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

解答例
「スモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。」という表現の「清らかに」というところから、残雪をがんの英ゆうとして認めた大造じいさんのすがすがしい気持ちが伝わってきたよ。
・「あかつきの光が、小屋の中に入すがしく流れこんできました。」という表現の「あかつきの光」という言葉から、ガンを手に入れる方法が今年はいよいよはじまりだと期待する大造じいさんの気持ちが伝わってきたよ。

【ここをチェック】
□ 情景がえがかれている言葉や文を取り上げながら、人物のどのような気持ちが伝わるか書きまとめることができましたか。

【関連教材】東京書籍五年／光村図書五年「大造じいさんとガン」

4